

平成29年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

図工

	指導のめあて	授業改善の視点
2 年	<ul style="list-style-type: none"> ○1人1人がめあてや課題と向き合い思いをもって活動する場面を多く設定する。 ○様々な材料体験，感覚体験のできる学習活動や造形遊びを取り入れ造形感覚を養う。 ○発達段階に合わせて道具の指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ねらいや目標をわかりやすく提示する。また段階を踏んで達成感を感じるよう、展開の工夫をする。 ○素材の感触や手触りを楽しんだり、色の組み合わせや色のよさを見つけたり楽しんだりする活動を取り入れる。 ○はさみ、段ボールカッター、カッター、基本的の道具の正しい使い方を覚える。
3 年	<ul style="list-style-type: none"> ○材料や素材、道具との出会いを大切にし、1人1人のよさや思いを生かせるような題材を設定する。 ○既存の道具や新しい用具の正しい扱い方を丁寧に指導し、発達段階に合わせて道具の指導を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の中で、素材の手触りや素材感の違いや特徴に気付けるような題材を設定する。 ○水彩絵の具、かなづち・釘の扱いなど、道具や材料の扱いについて基礎・基本を身に付ける学習を充実させる。
4 年	<ul style="list-style-type: none"> ○既存の道具や新しい用具の正しい扱い方を丁寧に指導していく。 ○一人一人の能力や思いに沿った個別指導を心がけ、自分の思いを広げ、表現を深めていけるよう、様々な表現や素材のよさに気付くよう、題材を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○彫刻刀、のこぎり、小刀の安全指導と技能指導をし、材料の特徴を生かし、意図に合わせて使いこなせるようにする。 ○一人一人のつまづきや進度を把握し、技術での個別指導をなど、適切に支援を行う。
5 年	<ul style="list-style-type: none"> ○構成の美しさの感じや、用途や自分の思いを伝える目的、それを満たす条件を考えながら表し方や計画をたて、児童が思いついたことを表現できる題材を設定する。 ○感覚を生かしながらも、計画的に見通しをもって制作する活動を少しずつ取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの経験を生かし、自分の思いをより広げ、表現を深めていけるよう、作品をつくる目的や方法、考え方、工夫を考える指針などをより丁寧に指導していく。 ○一人一人の能力や思いに沿った個別指導を心がけ、授業や授業の後に、一人一人のつまづきや思いを把握し、適切に支援できるようにする。
6 年	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの経験を生かし、自分の思いをより広げ、表現を深めていけるように進める。 ○個別指導で児童のつまづきを支援し、想像や表現が深まるような声掛けを行う。 ○視覚的に理解を深めるため、参考作品やICT掲示物等を提示し、授業を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○上手下手の感覚ではなく、個人の感性のおもしろさや発想の豊かさを受け止め、思いを大切にした作品のよさを伝え、指導する。 ○それぞれの想いにそって指導し、見通しをもち計画的につくるよさを伝えていく。 ○新しいイメージを生み出すようなイメージを操作するような題材を設定する。